

都難言協 多摩北ブロック研究会

吃音のあるお子さんを指導される先生方へ
：「見立ての観点とその指導方法」

筑波大学人間系 宮本昌子

令和7年12月2日（火）

e-mail: smymt@human.tsukuba.ac.jp



吃音の基本情報

吃音症状の分類

◆非流暢性の分類

- 吃音中核症状… 繰り返し，引き伸ばし，阻止（ブロック）
- その他の非流暢性

◆二次的症状

- 随伴症状
- 工夫・回避
- 情緒性反応

『吃音検査法第2版解説』 学苑社（小澤ら，2016）

吃音の中核症状



繰り返し	あ、あのね、き、きのうね
引き伸ばし	きーのうね、マーーーーマがね
阻止（ブロック）	．．．お．．．おはようございます

吃音が始まったころは「繰り返し」が主で、段々と「阻止（ブロック）」に進展すると考えられているが、実際には、そうでない場合も多い。

阻止（ブロック）がこの中では最も重い症状であることは共通する。

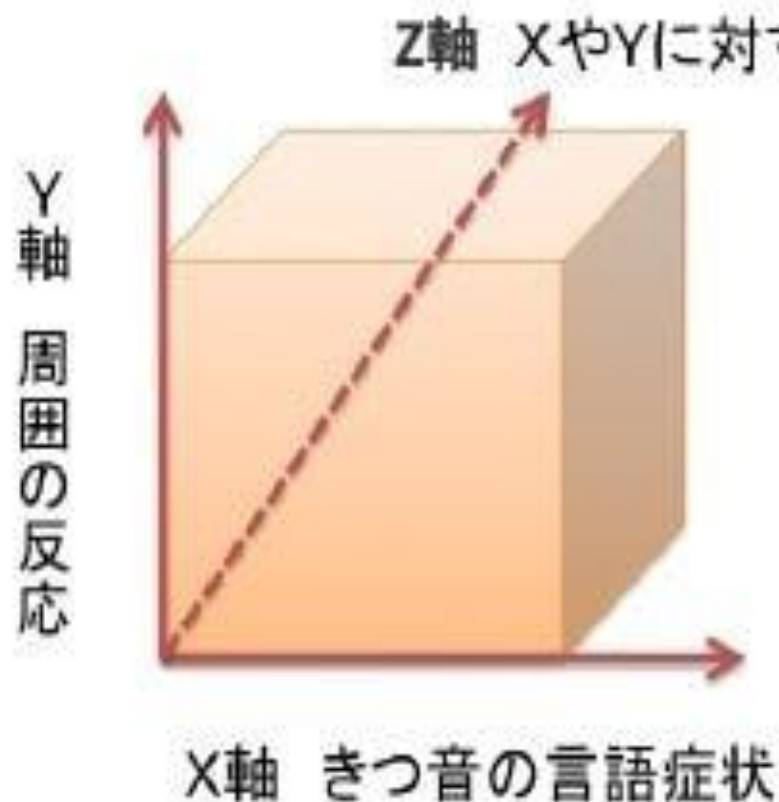
吃音の二次的症狀

随伴症狀	顔や体の一部を動かす、呼吸を入れるなど
工夫	えーとえーと、と助走をつけたり、目標の単語をなかなか言わずに、後回しにするなど
回避	言いたいことを吃音を避けて言わない
情緒性反応	咳払い、目を逸らすなどの反応

その他知っておいたほうが良いこと

- 有病率：1 %程度
- 発症率：5 %程度（最近では、10%に近い数値も示される）
- 男女比：3：5～1（男子：女子）
- 吃音が始まる時期：多くが2～5歳
- 自然治癒：7～8割
- 波状現象がある
- 一貫性効果・適応性効果
- 原因論：多因子モデルで説明(素因・環境・学習)

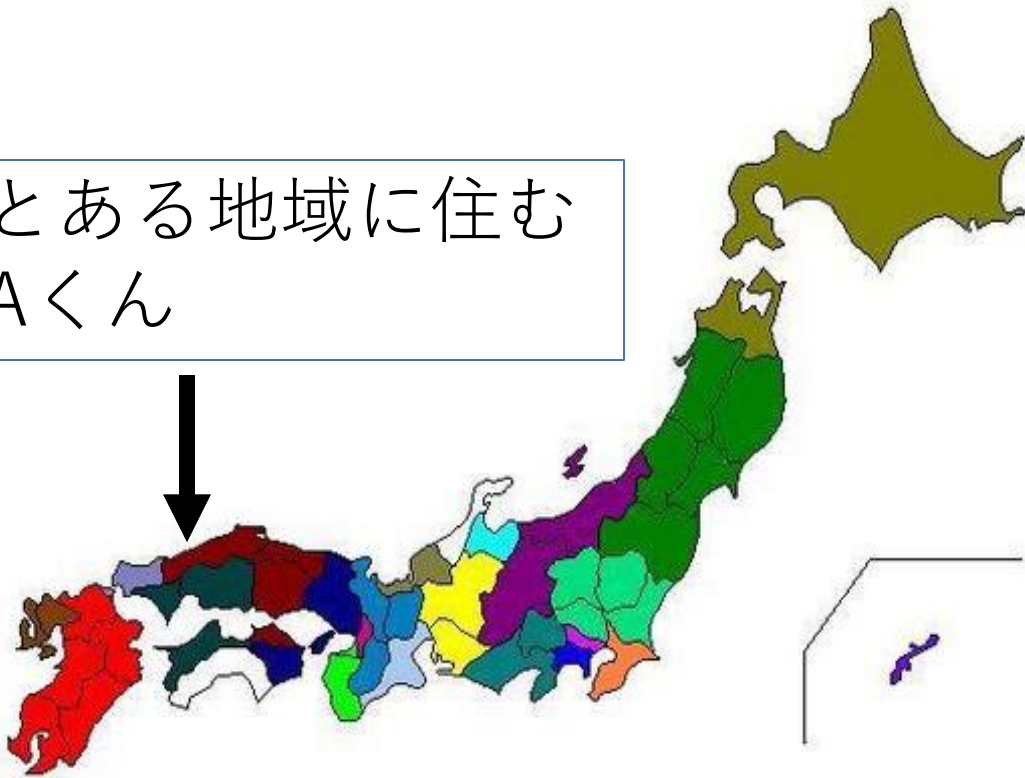
吃音というものを理解するためのヒント： 吃音の立方体



吃音ポータルサイト
<https://www.kitsuon-portal.jp/adult/what.html>から引用

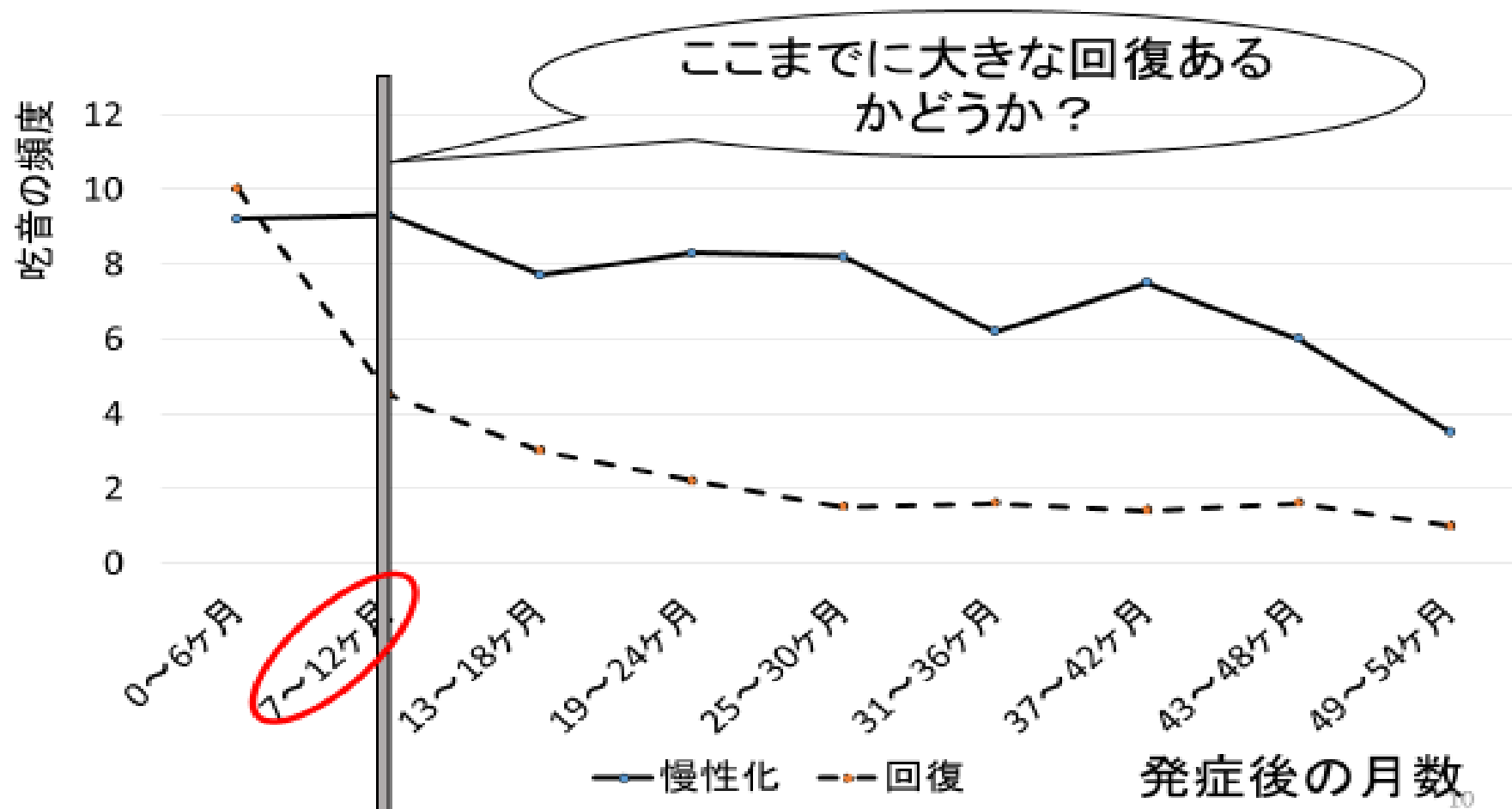
「Y軸 周囲の反応」が小さい例

とある地域に住む
Aくん



吃音発症後以降の慢性化と回復の経過

*「吃音の研究と臨床の進歩」(2014年11月3日国立障害者リハビリテーションセンターでの講演資料)(Yairi, 2014)



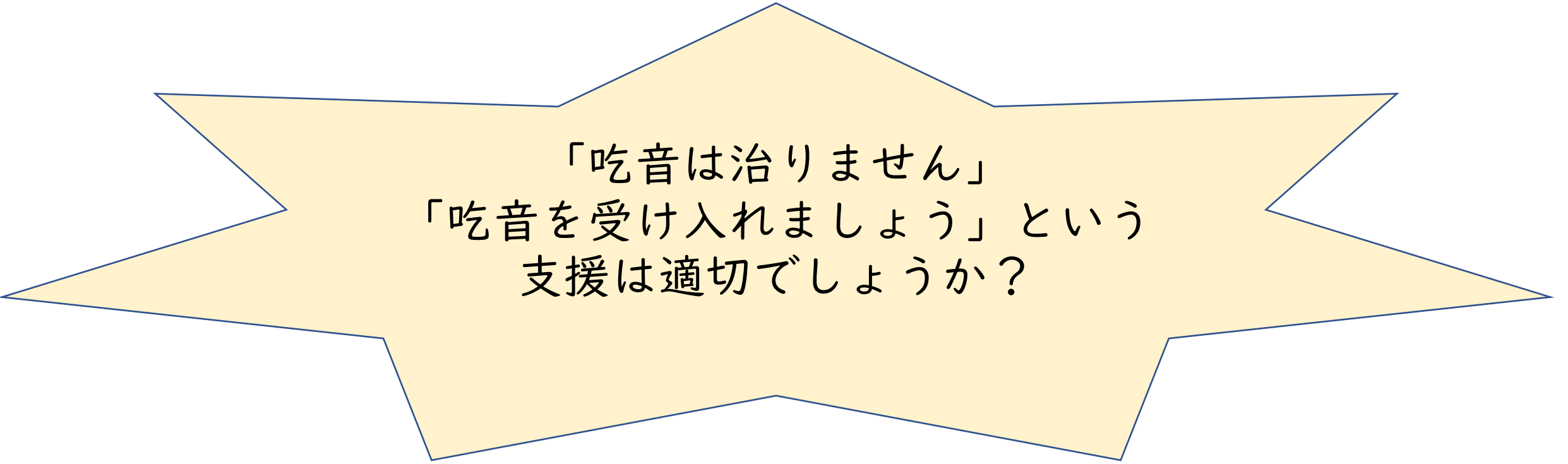
これまで、吃音がではじめてから、どれくらいまで様子を見たら良いのか、わからなかった。



約1年間は様子見ても良さそうである

学齡期は支援者にとって難しい時期

- 自然治癒の期間が過ぎた状態
- LPやDCモデルの適用年齢を過ぎた年齢



「吃音は治りません」
「吃音を受け入れましょう」という
支援は適切でしょうか？

学齡期には何をすべきか？

Yaruss先生（アメリカ）の説明によると、

- 子どもたちが言いたいことを自信を持って言えるようにすること
- 他の人と交流する能力を制限する回避行動やその他の恐怖に基づく行動を最小限に抑えるようサポートすること
- より簡単に、より少ない身体的努力で話せるようになるよう導く

これらは吃音のある子どもの生活に実質的でポジティブな影響を与えることができる、やりがいのある成果なのです。

今日は、指導の例を紹介します。

- 小学校に入ると吃音はあまりよくならないと思われがちですが、そんなことはありません。
- 段々とよくなる場合もあります。
- しかし、時期によって、悪化しているお子さんもいます。
- 吃音がたくさん出ている時期でも、お母さんが子どもの話を、よく聞いている姿をお見せしたいという思いで、動画をご紹介します。
- みんなが「その話し方でいいよ」という目で見守り、本人もそう思っていた結果、吃音が楽になったのではないかと思います。

この中で、理解教育を実施したのはどれ？

- ①「吃音は神様がくれた」と言っていたAくん（年長～小3）
- ②語尾を繰り返していた小学校1年生Bくん
- ③音楽による介入で、驚くほど吃音がよくなった小学校3年生Cさん
- ④吃音は改善したが、読み書きの問題が目立つようになった小学校4年生Dさん
- ⑤絶対治したいと思っていた気持ちが変わった小学校5年生のEさん
- ⑥得意な野球の経験で吃音を乗り切った小学校6年Fくん
- ⑦吃音で、早口傾向だった小学校6年生のGくん
- ⑧卒業式での名前を呼ばれる怖さを克服した中学校3年Hさん
- ⑨吃音と早口言語症を併せ持っていた高校3年生I君

①れんじくん：年長から小学校3年生まで

- 5つの動画を紹介します。

- 2017年2月（年長）①， 6月（小1）②③
- 2018年3月（小1）④
- 2019年12月（小3）⑤

- 動画の概要

- 年長時には吃音の症状がたくさん出ていました。
- お母さんと毎朝、リッカムを行いました。
- 人の前で話すことにいつもチャレンジしていました。
- 吃音症状は徐々に改善しながら、時々調子が悪いときもありました。

①年長の2月：LEGOとLaQの話



②小1の6月：運動会で選手宣誓をした話



③小 1 の6月：ジンギスカンと牛乳の話



④小1の3月：リズムに乗って話す



⑤小3の12月：学芸会とマラソン大会の話



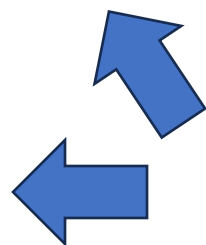
れんじくんが持っている力

前向きな発言の例：

- 吃音は神様がくれたんだよ
- 吃音は乗り越えられる人しかないんだよ
(「この話し方は、ぼくの話し方だからやめない」ということも)

前向きな行動の例：

- 選手宣誓をやる
- 学芸会で司会をやる



吃音を理解できていたとはあまり思えないが...

お母さんの力

- 何回も繰り返している時期でも、話の内容を最後まで聴く姿勢があった
- 前に出ようとするれんじくんの背中を押していた
- お話の練習に毎日付き合ってくださっていた

氷山の水面より上
は吃音の言語症状

行動
Behavior

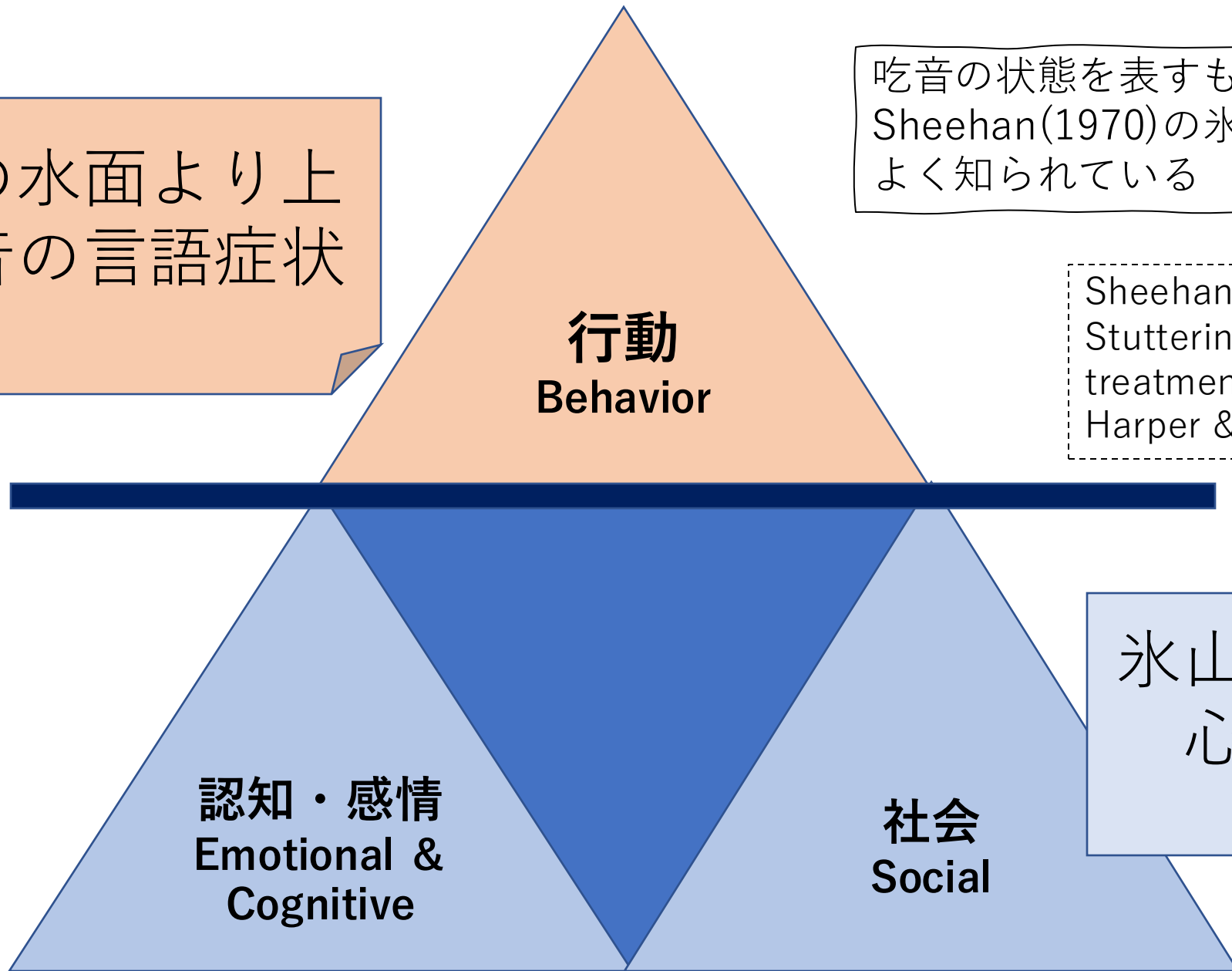
吃音の状態を表すものとして、
Sheehan(1970)の冰山モデルが
よく知られている

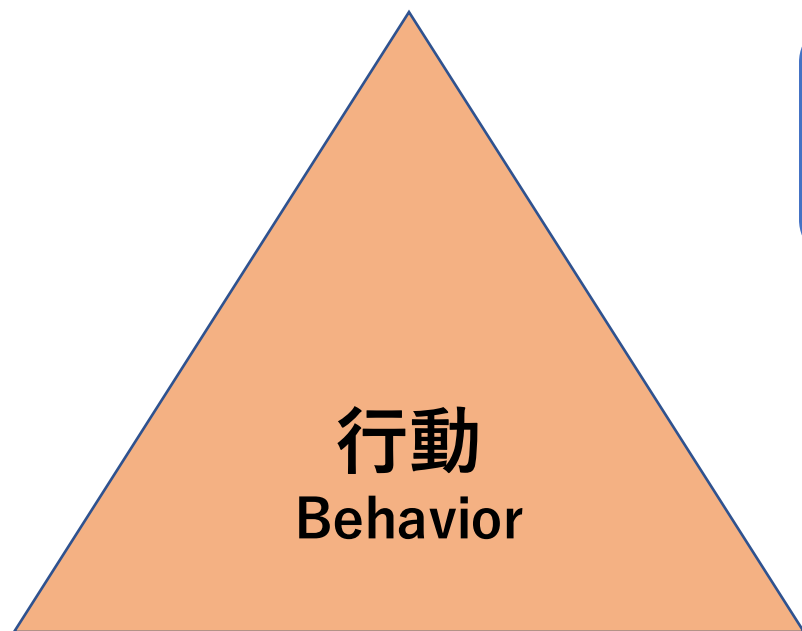
Sheehan, J. G.(1970)
Stuttering: Research and
treatment. New York, NY:
Harper & Row.

認知・感情
**Emotional &
Cognitive**

社会
Social

氷山の水面下は
心理的・社会的症状





吃音が生じることである

…緊張して言葉がうまく出せず、「ありがとう」の「あ」も言えない。

きつねびよりP11

保護者のみなさんは、この部分をやらないといけないうちで思っているかもしれない

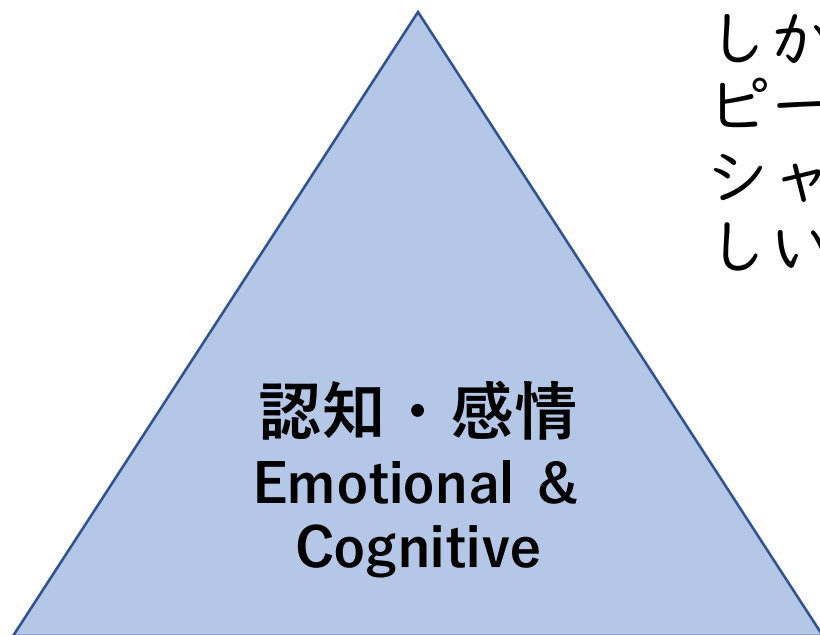
特にア行が言えない。「ありがとうございます」「お願いします」など感謝や礼儀としての言葉が言えないのはとてももどかしいことです。

きつねびよりP23

吃音キャンプ後の日直では、アドバイス通りに号令をかけてみようと思いましたが、今度は「れれれれれれれい」と連発の吃音が出ました。

きつねびよりP17

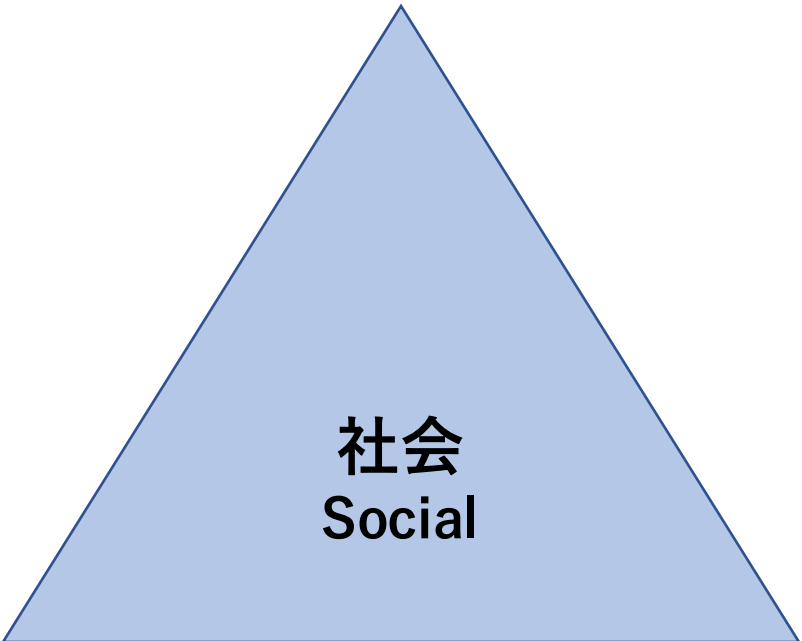
「きつねびより」（2020, きつねっとファクトリー



しかし、言語症状の支援が、通っている教室やセラピーの中でうまくいったとしても、高いプレッシャーがある場面では、そのスキルを使うことが難しいと思われます (Boyle, 2018)

彼らに必要な支援は、海面の下の部分（「認知・感情面」）にあるのです。

- こうやったら吃らないよ・・・，ということばかりを支援するのではなく，自分が吃った時にあなたはどうか感じるの？
どのように受けとめて対応したらいいの？
ということをいっしょに考えることが必要です。



社会
Social

もう一つ、保護者や子どもが吃音のことで悩むのは、社会が吃音を理解していないということに原因があるのです
(Boyle, 2019)。

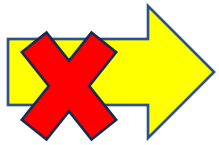
社会における無理解による、

否定的な観方

偏見



「吃音」のことがよくわからないがために、
推測で、根拠のないことを信じてしまう。
(例：気持ちが弱いから吃音になるの?)



吃音のある人とよく接したことがある人、吃音について正確な知識を得たことがある人は、吃音のある人を否定的に観たり偏見を持たないことがわかっています。

だから・・・、

まずは、お子さんの心の中にあることを聞き出すことが大切ではないでしょうか？



でも、小学校低学年の男の子が自分のことをペラペラと話しますか・・・？多分そんなに話さない子が多いと思います



どうしているのか、何が好きなのか？ということは一緒に過ごすことで段々とわかってきます

（直接に質問すると、逆に言わないのかもしれませんが…。）

最後まで、ご清聴をありがとうございました。



つくばことばクリニック
チャンネル登録者数 380人

ホーム 動画 再生リスト チャンネル 概要

アップロード動画 ▶ すべて再生



「第23回「早口言語症に気づくのはなぜ重要？」」 5:04



第22回「梅原さん親子登場！」 インリアルアプロ...



第21回大晦日SP「突撃インタビューつづき」 6:04

研究室の活動を配信しています。

<https://miyamoto-lab.net/>
<https://twitter.com/MiyamotoPyonko>